

蔵王山の火山活動解説資料

仙 台 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

< 噴火予報（活火山であることに留意）が継続 >

蔵王山では、本日（30 日）05 時 53 分に継続時間のやや長い火山性微動が発生しました。傾斜計¹⁾では微動発生に先行してわずかな南東上がりの変化がみられました。火山性地震は観測されておらず、他のデータにも特段の異常は認められません。

2013 年以降、火山性地震の増加や火山性微動の発生が観測されており、2014 年 10 月以降はわずかな膨張を示す地殻変動が観測されるなど、長期的にみると火山活動はやや高まった状態にありますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・地震や微動の発生状況（図 1 ～ 3）

30 日 05 時 53 分に継続時間のやや長い火山性微動が発生しました。坊平観測点（山頂の南西約 5 km）の観測では、継続時間は約 14 分と、2013 年 1 月以降発生している微動の中では比較的長いものでした。最大振幅（上下成分）は $3.2 \mu\text{m/s}$ とこれまでに発生した微動と同程度のものです。火山性微動は、11 月 18 日と 27 日にも規模の小さなものが観測されています。

火山性地震は、11 月 22 日以来観測されていません。

・地殻変動の状況（図 3）

坊平観測点の傾斜計¹⁾で、微動発生に先行してわずかな南東（山頂の南側）上がりの変化がみられました。GNSS²⁾による山体およびその周辺の地殻変動観測に特段の変化はありません。傾斜変化は、微動終了後元に戻っています。

・噴気など表面現象の状況

遠刈田温泉（山頂の東約 13km）に設置してある遠望カメラでは、本日、丸山沢の噴気は観測されていません。また、御釜付近の状況は雲のため確認できません。

1) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがあります。

2) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 26 情使、第 578 号）。

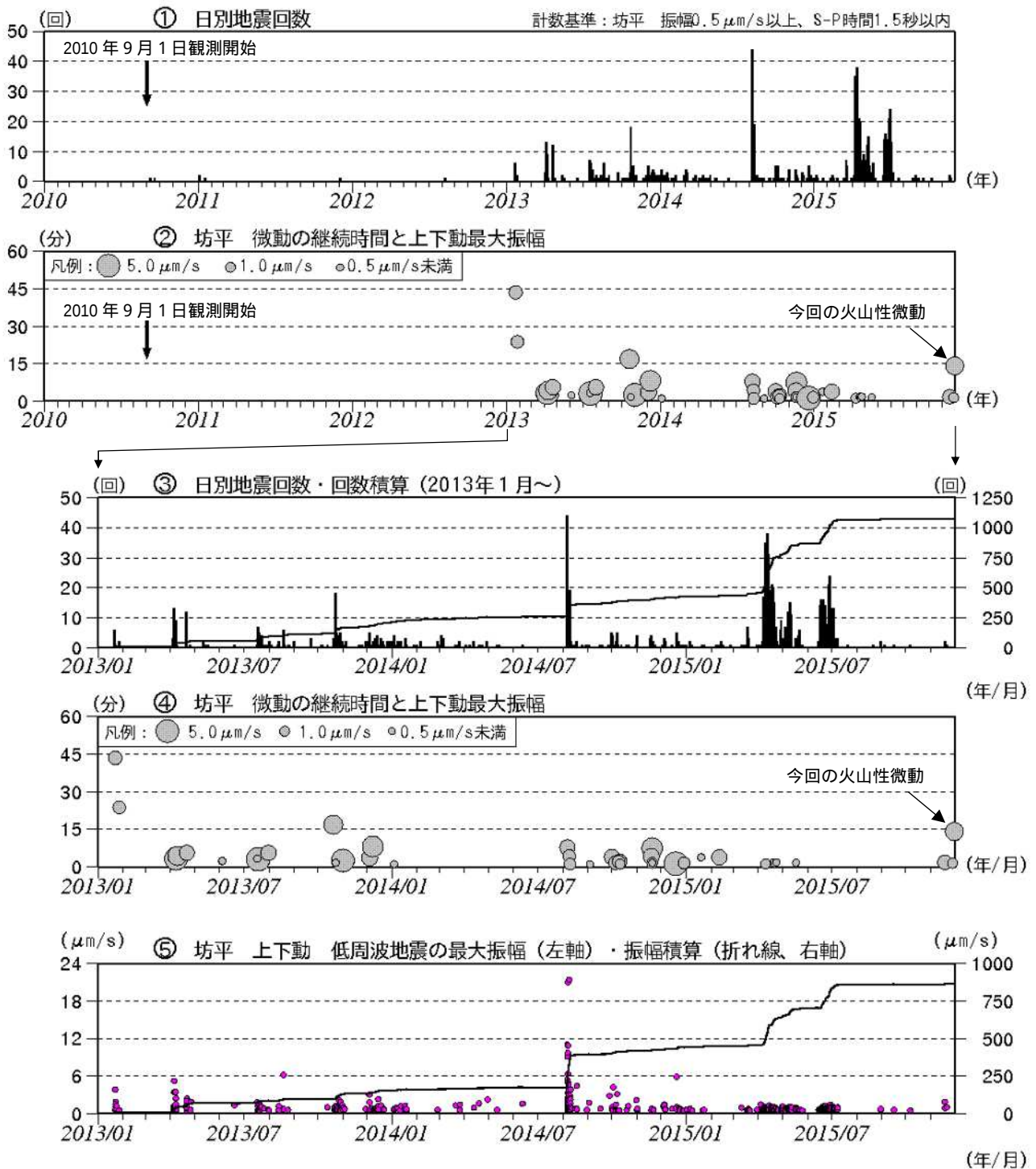


図1 蔵王山 火山活動経過図 (2010年9月～2015年11月30日)

・回数は速報値で精査後修正される可能性があります。

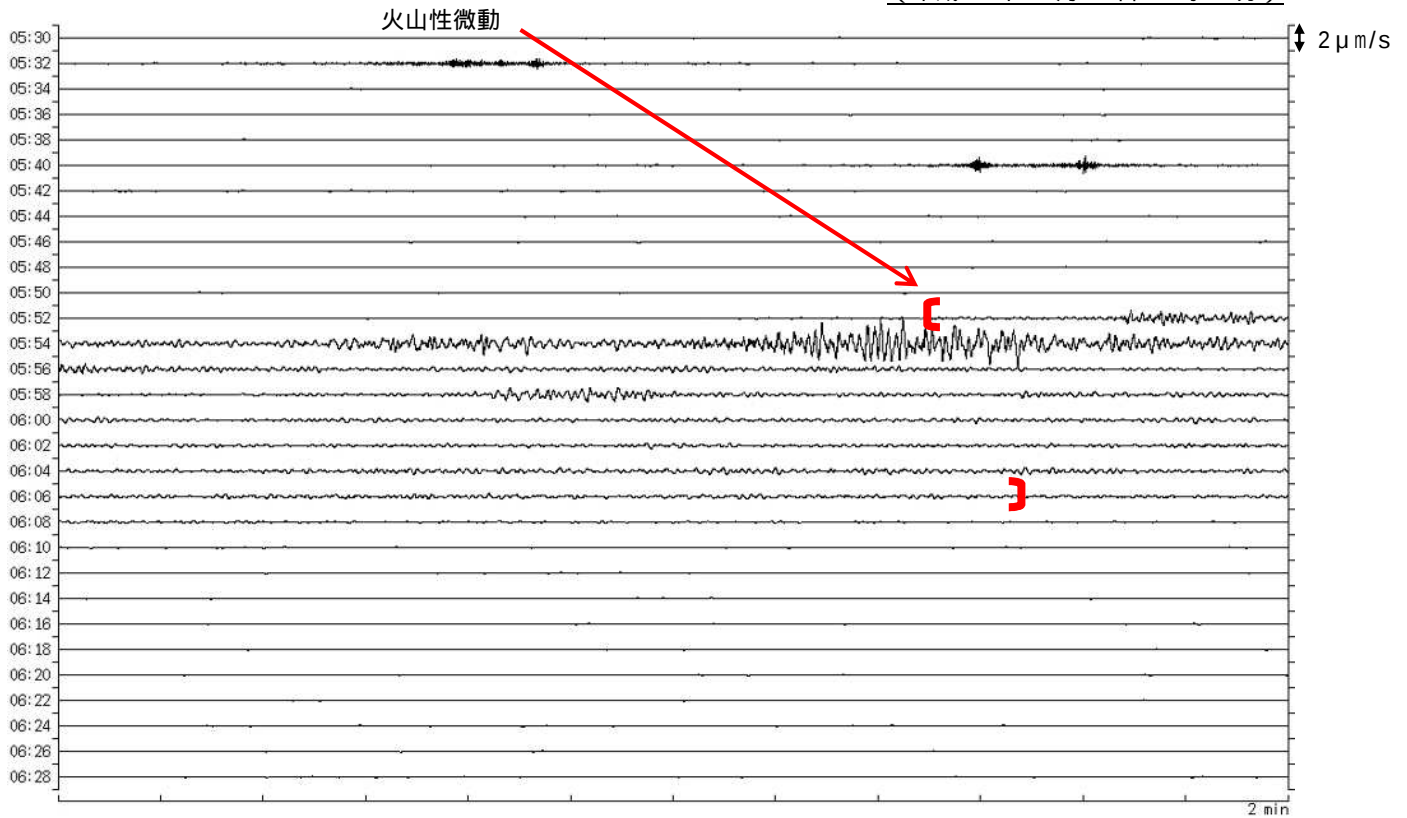


図2 蔵王山 坊平観測点（上下成分）での火山性微動の発生状況
(2015 年 11 月 30 日 05 時 30 分～06 時 30 分)

・ [] は火山性微動を示します。

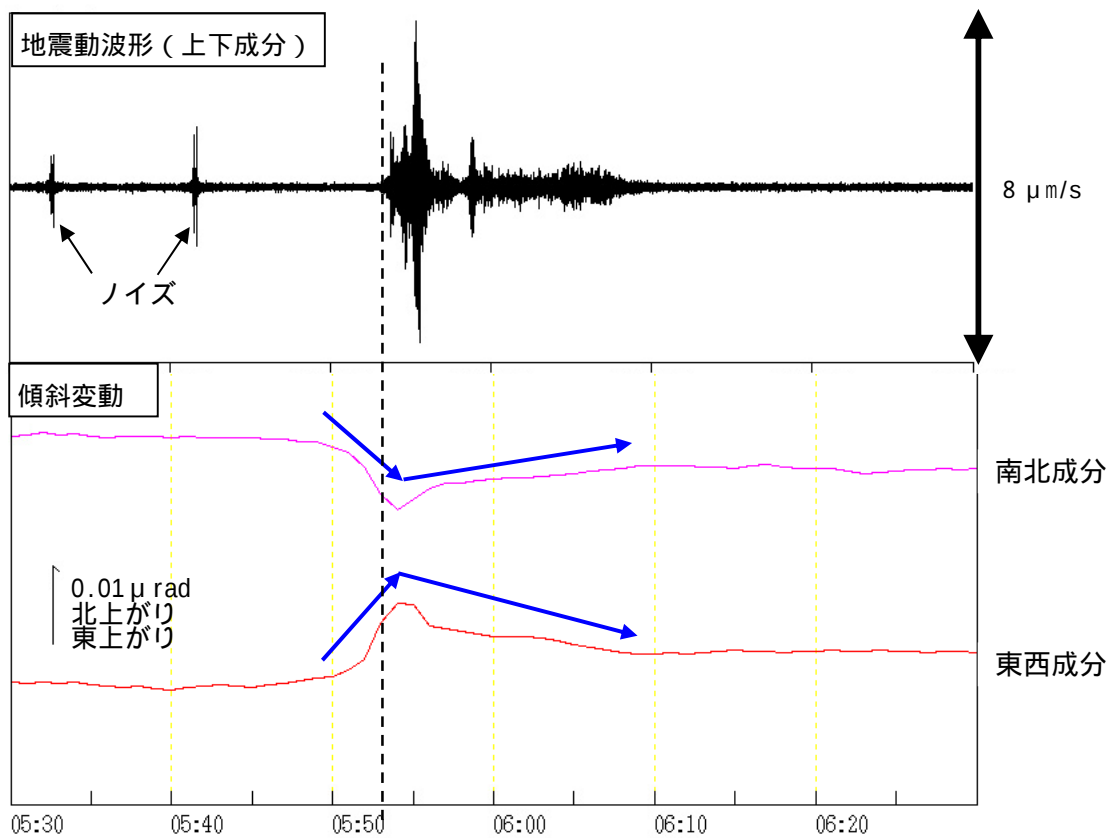


図3 蔵王山 坊平観測点での火山性微動波形および傾斜変動

(2015 年 11 月 30 日 05 時 30 分～06 時 30 分)

- ・ 黒破線は火山性微動の発生時を示します。最大振幅は $3.2 \mu\text{m/s}$ 、継続時間は約 14 分です。
- ・ → は傾斜計の変化傾向を示します。

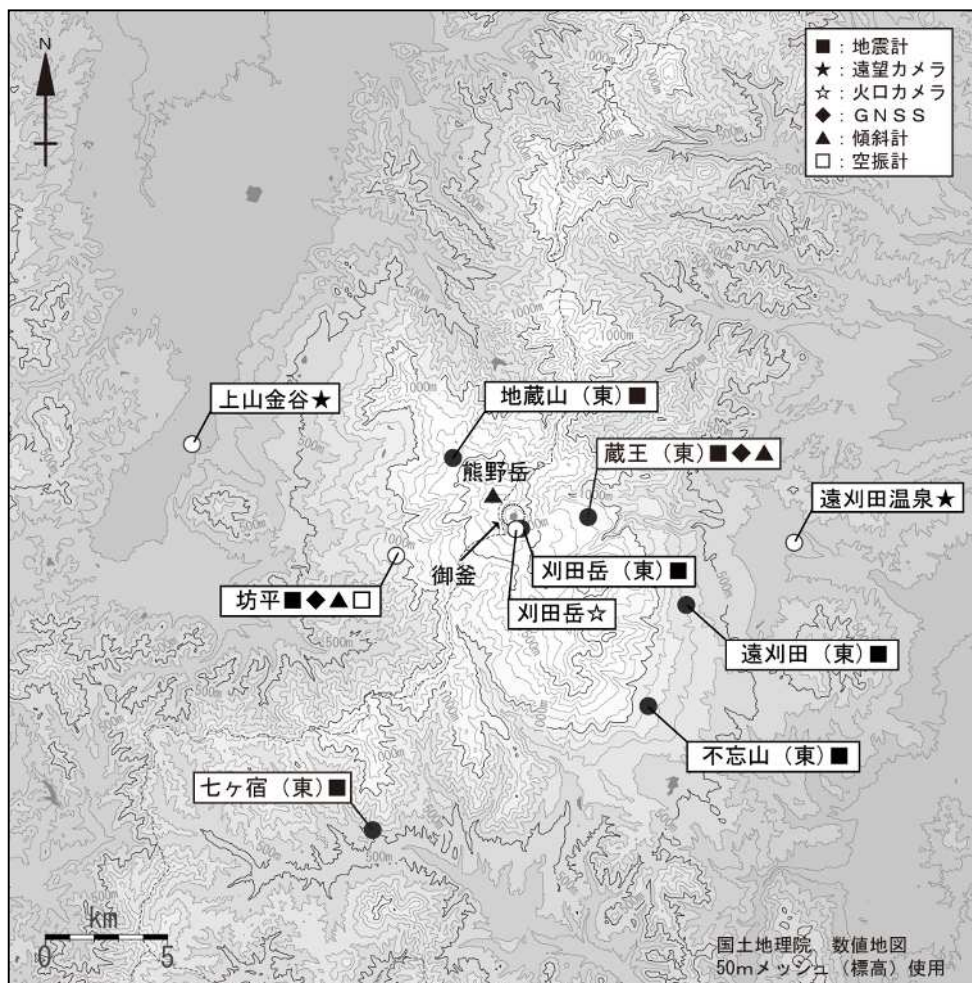


図4 蔵王山 観測点配置図

小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(東)：東北大学